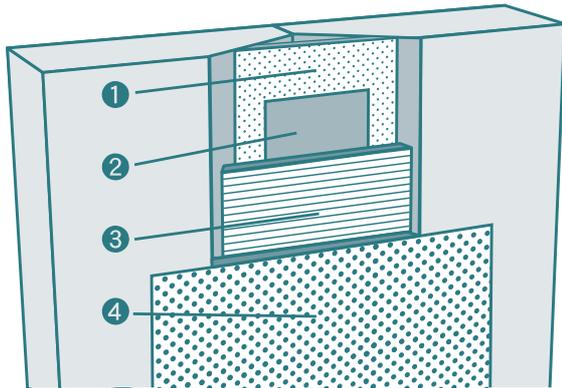


下地処理

●石膏ボードの下地処理

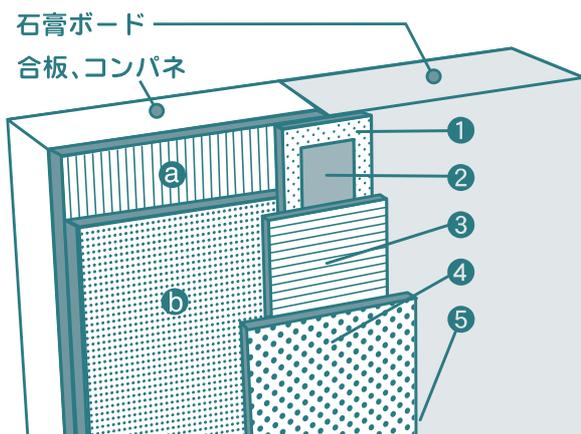


- ① 下地パテ
- ② ファイバーメッシュテープ・ジョイントテープ
- ③ 中塗りパテ
- ④ 上塗りパテ

推奨
<テープ> MKブリッジテープ(メーコー㈱)、
他 グラスファイバー製テープ
<パテ> クリナノンペーパーパテ(メーコー㈱)、
他 石膏系パテ

- ※ビス頭も必ずパテ処理を行ってください。
- ※パテ面の凹凸又は、不十分な乾燥は仕上がり時、特に照明や射光によって色ムラに見える場合があります。パテを十分に乾燥させた上、ボード面とフラットになるようパテをサンドペーパーでサンディングし平滑に仕上げてください。
- ※ベベルボードの場合、最終仕上げのパテはジョイント部分から両サイドに300mm以上の幅で塗り広げて下さい。
- ※パテは痩せの少ない塗り壁用の石膏系パテを使用してください。(ビニルクロス用パテの使用を避け、硬化促進剤など硬化を早めるものは使用しないでください。)
- ※ビス頭も必ずパテ処理を行ってください。

●合板・コンパネの下地処理 及び、石膏ボードとの ジョイント部分の処理



- ▲ カチオン系 アク止めシーラーを2回以上塗る。**
- 合板やコンパネ面を全面パテ処理する。**

上記と同様に

- ①～④の順にジョイントを処理する。

▲ 注意事項:

- ・アク止めシーラーは市販品をご購入のうえご使用ください。
- ・アク止めシーラーの中には有機溶剤の臭いや、刺激の強い商品があります。アレルギー体質の方、小さなお子様が居られる場合には細心の注意のうえご使用ください。

極度のアレルギー体質、過敏症の方はアク止めシーラーの製造メーカーへご相談ください。

施工上の注意

- アク止めシーラーは市販品をご購入のうえご使用ください。
- アクが出た場合は上から「カルクファルベ」を補修材として塗布してください。(p12. メンテナンスの方法)

●下地がモルタルやコンクリートの場合

a モルタルの養生期間を十分にとる。(2～3週間)

b **▲ カチオン系 アク止めシーラー** を2回以上塗る。

▲ 注意事項:

- ・アク止めシーラーは市販品をご購入のうえご使用ください。
- ・アク止めシーラーの中には有機溶剤の臭いや、刺激の強い商品があります。
アレルギー体質の方、小さなお子様が居られる場合には細心の注意のうえご使用ください。
極度のアレルギー体質、過敏症の方はアク止めシーラーの製造メーカーへご相談ください。

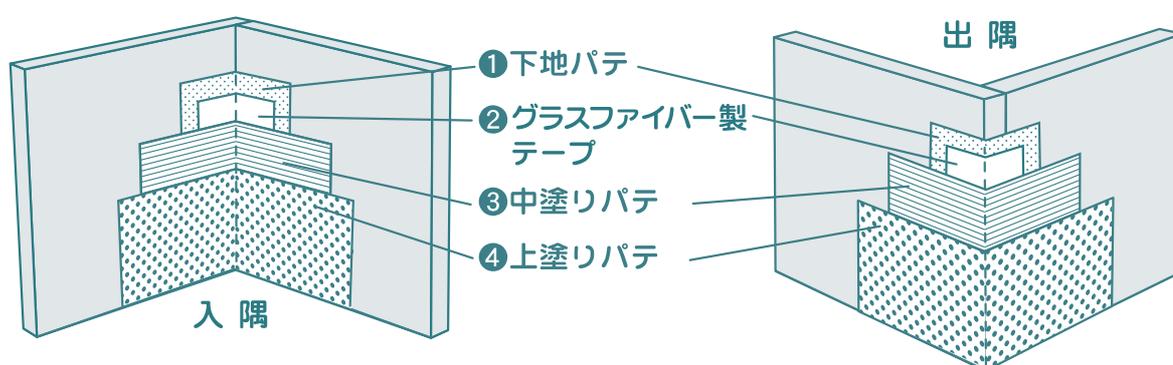
施工上の注意

アク止めシーラーで処理しても合板からアクが出る場合があります。

アクが出た場合は上から「カルクファルベ」を補修材として塗布してください。(p12.メンテナンスの方法)

●入隅、出隅の処理

出隅・入隅共にファイバーメッシュテープを入れを入れ割れにくい下地を作つくる。



※パテ面の凹凸又は、不十分な乾燥は仕上がり時、特に照明や射光によって色ムラに見える場合があります。
パテを十分に乾燥させた上、ボード面とフラットになるようパテをサンドペーパーでサンディングし平滑に仕上げてください。

※ベベルボードの場合、最終仕上げのパテはジョイント部分から両サイドに300mm以上の幅で塗り広げて下さい。

※パテは塗り壁用の石膏系パテを使用してください。(ビニルクロス用パテのご使用は避けてください。)

※ビス頭も必ずパテ処理を行ってください。